

親しく正しく和やかに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人

寺楽寿

No.11

平成25年1月1日発行



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）

本覺山妙壽寺が発行する寺報です。

檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。

本覺山 妙壽寺（法華宗（本門流））

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1

電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427

ホームページ <http://myojuyuji.or.jp>

無縁社会と寺縁その9

新しい歳を迎え、皆様方には清新たなお気持ちでお過ごしのことと存じ上げます。早くも3月には東日本大震災・津波から2周年、三回忌を迎えます。今も目を閉じると、昨年6月に初めて石巻・女川を訪れ、被災地と避難されている方々の様子に続いて、9月に伺った閑上（ゆりあげ）・荒浜の地がはつきりと蘇ります。

約2万人に及ぶ犠牲者の方々の魂の追善と供養が滞りなくお勤めできているのか、そのことを勧請することが行われているのか、自問の日々が続いております。

昨年、原発問題の公開公聴会で、出席の電力会社関係者が「放射能で誰一人として死んでいないではないですか！」という発言がありました。これを見聞きしたとき、悲しみが心に湧き上がってきました。未だ16万人の被災者が避難生活を余儀なくされ、多くの人々が生命財産の危機にある中で考えられないことでした。

日本人の公徳心・相互扶助の精神は、どこに行ってしまったのか。宗教・政治・教育の責任を問わずにはられません。

閑話休題。旧臘十二月、十八代中村勘三郎丈、語りつくせぬ多くの足跡を残し逝去されました。彼の言葉の中に「守るだけでは伝わらない」の一言を見つけました。

寺院の使命は「供養と祈願」、今の時代に生きる人々と共に「親しく正しく和やかに」（先々代日照上人言葉）に正しい仏法を「伝えて」いきたいと思えます。

鴉 鶴



竹燈籠能「葵上」 シテ 浅見慈一師（平成24年10月14日 当山本堂にて）

南家 金子家 結婚法要式

- 当山御宝前で厳かに華燭の典 -



爽やかな秋空の大安吉日9月15日（土）、当山お檀家、南満則様ご長男・南公人さんと金子家ご長女・金子景美さんが、菩提寺の当山本堂で華燭の典を挙げられました。新郎は紋付袴で凛々しく、新婦は艶やかな振袖姿に愛らしい笑顔を満面に浮かべ結婚式に望まれ、御家族が暖かな眼差しで見守る中、当住上人式長のもと、法華宗の法式に習い結婚法要式が営まれました。式の中では指輪交換の後、誓いの言葉「誓詞」を二人がご宝前に向かい、ご先祖様へお気持ちを伝えられました。さぞ、ご先祖様も御喜びになられたことでしょう。本堂での記念撮影の後、お二人は披露宴が催される、ホテルオークラへ向かわれました。当住上人が二人の門出を祝福し、披露宴で改めてお祝いの言葉を述べさせて頂きました。

御二人の末永いお幸せをお祈り致します。

予告

平成25年5月4日～6日

関西二大本山（本能寺・本興寺）門祖日隆聖人
第550遠忌大法要巡拝旅行（詳細ご案内は社務所まで）

- 日程予定
- 4日（土） 朝、東京駅集合 → 新大阪より尼崎大本山本興寺大法要参拝 → 夕方、京都散策および夕食会 → 宿泊
 - 5日（日） 観光地見学参拝 → 夕方集合して夕食会 → 宿泊
 - 6日（月） 朝食後、大本山龍寺大法要参拝 → 夕方、新幹線にて東京駅へ（解散午後7時頃）

妙壽寺 2013春・夏スケジュール

2月3日 節分析願法要
午後2～3時：法要
午後3時：茶話会

3月20日 春の彼岸法要
午前11時：中日合同法要 初座・動物廟法要
正午12時：歴代墓所・正隆廟法要
午後2時：中日合同法要 第二座

7月16日 盂蘭盆施餓鬼法要・棚経（たなぎょう）
午後1時：法話 午後2時：法要
7月上旬から15日まで、各お檀家にお盆棚経に
担当僧侶が伺います。

正隆会 [SHORYU-kai]

月例講
ご案内

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会は、毎回1時半より正隆廟前法要を奉修しております。

- 1月13日（日） 初題目（12日（土）の予定が変更になります）
- 2月3日（日） 節分析願法要
- 2月9日（土） 勉強会「心が温くなる日蓮の言葉」拝読7
- 3月初旬 婦人会・正隆会共催 ヤクルト本社湘南化粧品工場見学（予定）
- 4月13日（土） 写経会
- 5月3日～5日 関西二大本山（本能寺・本興寺）
門祖日隆聖人 第550遠忌法要巡拝旅行
- 6月8日（土） 勉強会「心が温くなる日蓮の言葉」拝読8
- 7月13日（土） 興隆学林教授・平島盛龍先生講師勉強会
- 8月 休講



①呈茶の準備は怠りなく ②般若の面で見られる ③祈禱による鎮魂 ④呈茶席に飾られた三十六歌仙を拝見する ⑤浅見慈一師の事前レクチャー ⑥当住上人による「源氏物語と仏教」についてお話 ⑦スタッフの皆さん、ご苦労様でした ⑧本堂は満席となる

代々木果道会別会

第二回 竹灯籠能

「葵上」奉納

10月14日、当山本堂御宝前において二回目となる竹燈籠能「葵上」は、二百余名の参加者を得て好評裡に上演されました。

●開場15:30 ↓呈茶 ↓レクチャー ↓開演小謡仕舞 ↓（本堂火入れ）能 ↓（庭火入れ）終演18:45

清明庵 (鵠沼海岸)

11月23日 小雨のそぶ降る中、正十二時より佐藤龍昂師による御会式法話、三吉久美(妙真)、伊東千明(妙潤)両尼の臨時教師養成講座ご報告、一時より三十名余にて御会式法要が奉修されました。

日蓮教会 (桑港)

11月10日 午前10時より四方宗順先生ご指導により、表千家茶道の教室が開かれ、当住上人、園田師も参加いたしました(写真・四方先生=前列2人目、社中の方々と)。なお、同日夕刻には新しい文化教室として囲碁教室も始まりしました。



11月11日 午前10時より仏教勉強会は三品経(方便品・寿量品・神力品)のお話が当住上人、園田師により行われ、午後1時より本堂にてお会式法要が四十余名にて奉修されました。修了後、その場にて宗本スミ子社中による三味線民謡の清興があり、大きな拍手がわきました。その後、階下にて持ち寄り(ポトラック)の食事が賑やかに開催されました。



▲高政2階ホールの高座で「復幸」の願いを込めて落語を披露する好楽師匠

▼右端より当住上人、高政取締役社長室長高橋正樹氏、三遊亭好楽師匠、須藤大恵東京ブリストクラブ会長



●9月3日 東京ブリストクラブ女川町再訪
同クラブ有志に、落語家三遊亭好楽師匠(弟子・三遊亭こうもり「旧芸名・末高斗夢」同行)総勢13名が被災地慰問を致しました。
はじめに石巻市の西光寺に再訪し、供養法要の後、ご住職から震災当日の様子や、その後の復興について伺いました。そして、女川町の蒲鉾製



●11月3日 御会式
例年より寒い中、宗祖日蓮大聖人第七三十一御遠忌御会式が奉修されました。
午後1時より、東京教区布教師久永晃隆上人による御会式法話、午後2時より二十余名の組寺有縁上人御出仕による報恩法要が厳かに執り行われました。

●9月29日~10月3日
法華宗教師養成特別講習会 開催
8日間の日程にて法華宗主催による「第一期(全3期)教師養成特別講習会」が開催され、当山より当住久美(妙真)夫人、伊東千明(妙潤)さんの2名が参加(全14名、会場であり、道場でもある茂原市の大本山鷲山寺(御貫首・平田日範現下)にて熱心な講習・実技研修が行われました。
「第二期」は、兵庫県尼崎市の大本山本興寺(御貫首・小西日遠現下)で、10月27日~11月1日、さらに「第三期」は京都市大本山本龍寺(御貫首・菅原日桑現下)にて12月8日~13日まで開催され、受講生は真剣に給仕・修行・学問を修め法華宗の教師(住職)資格を取得しました。

●9月22日 秋彼岸法要
真夏の暑さの残る中、彼岸会合同法要が奉修され、四百余名の方々が参拝されました。
●9月14日・15日 当住上人長崎訪問
日本橋倶楽部通幹会にて、長崎奉行所を再現した長崎県立歴史文化博物館や、料亭「花月」を訪ねる旅行に、当住上人が参加されました。尚、当住上人の恩師である浅井田道先生(慈学院円道日健上人立正大学名誉教授 御自房の長崎寺町の長照寺御墓所をお参りされました。

造会社「高政」のご尽力により、同社ホールにおいて好楽師匠による「復幸」寄席が約1000名の被災された方々を集めて行われ、大きな笑いの中、これからの再生と復興を誓いました。

〈動物園テラス〉

アニマル・カフェ 陽だまり プレオープン

3月彼岸会のオープンに先立ち、当山管理棟1階の「アニマルカフェ陽だまり」が仮オープンします。詳細は次号にてご報告いたします。

ニヤンカフェ No.1

かつて本紙「テラス」前身の「鳥山信報」において「言蔵日記」が連載されましたが、その犬猫精神を引き継いで、今号より信蔵の方々の愛犬愛猫をご紹介します。今回はその予告編です。
当山愛犬のスタンダードプードルのリッキー=力蔵6才(写真左)とジン=仁蔵2才(♀)よりご挨拶。

募集します

信蔵皆様の愛犬愛猫をご紹介します。①種類、②年齢・性別、③名前、④エピソードを記入のうえ、写真を添えてご応募ください。



DVD「四季薫る妙壽寺」

当山四季の花々を収めたDVD「四季薫る妙壽寺」(8分)が完成しました。ご希望の皆様には、ファクシミリにてお申し込みください。 FAX. 03-3308-7427



●12月23日 お焚き上げ法要
当山弟子職員による煤祓の大掃除とともに仏具等が読経のなか、お焚き上げされ、一年間の行事が修了されました。

●11月26日 当山歴代人法要
当山洋間にて午後3時より総代会、4時より本堂において有志により当山歴代報恩法要が奉修され、先代住職に至る二十五代および御弟子、有縁の各上人の報恩法要が行われました。6時からの供養席およびお祝い会では、参加者の傘寿、喜寿の方々にお祝いの花束が贈られました。
●12月22日 法昌寺先代人第三十七回忌法要
下谷法昌寺において第二十世和光院日輝上人(露木泰隆上人)の第三十七回忌法要が本性寺住職久野泰瑞上人御導師により組寺上人、総代役員、有縁の方々により厳かに法要が執り行われ、在りし日の先代人をお偲び申し上げます。

●11月19日 京都市本妙院年回法要
大本山妙蓮寺塔頭本妙院先代住職尾崎日慈上人(惠隆・本妙院日慈上人、平成2年12月19日遷化)の二十三回忌法要が当住上人導師により営まれ、住職尾崎妙恵上人はじめ、十余人にて在りし日の先代人をお偲びいたしました。

また、有縁ご婦人方のお手伝いにより、400近いお弁当が振舞われました。
●11月15日 伊丹市妙宣寺婚礼
昨春まで大本山本興寺御貫首であられた伊丹妙宣寺住職有原日龍閣園上人の嗣法の有原晃龍上人、藤木幸子さんの華燭の典が伊丹シティホテルにおいて、関西寺院各上人、同寺総代婦人会等三百余名が出席して盛大に挙行され、当住上人もお祝いの席に参列されました。

●10月18日 長壽寺・吉村光篤上人遷化
富士市長壽寺先代住職吉村光篤上人がご遷化され、同24、25日に通夜、葬儀に当住上人、佐々木明上人が参列され、ありし日の温かをお偲びいたしました。同上人嗣法・現住職吉村光敬上人は立正大学在学中、当山の学生所化を務められました。ここに同上人の自受法楽をお祈り申し上げます。

●10月15日 婦人会・川崎三代子夫人逝去
当山婦人会の川崎三代子夫人(信清院妙朝日代大姉、76歳。夫君は当山世話人川崎高義氏)が逝去されました。同夫人は母堂故井上かの刀自の代より当山の諸行事等にお手伝い、いたされました。ここに冥福をお祈りいたします。
●7月31日 日本画家・伊東深水氏逝去
当山先代大僧正日照上人の竹馬の友であった日本画家の故伊東深水画伯の二男・伊東深水氏(いとう・しんびょう、本名・勝田新一(日本画家)は急性心不全により逝去、享年75歳でした。姉は女優、朝丘雪路さん。米国で日本画(洋世絵等)を通して日本の伝統文化と日本人の美意識の紹介に尽力されました。
なお、当住上人は8月1日サンフランシスコのご自宅に引開、3日に病院霊安室にて回向供養されました。

追悼



ESSAY

墓参り妙壽寺と伴に八十七年 その1 竹内次郎 (当山檀家)

私は「オギャー」と生まれて一番最初に捨てられた。それも隅田川の蔵前橋のガード下だ。そう言われて小学校に通うまで信じていた。というの昔は四十二歳の厄年に生まれた子供は、一度捨てられて拾われるとその子は丈夫に育つと迷信みたいなことがあった。八十年後の現在は、晩婚で四十歳以上で生まれることは当たり前だ。時代の流れは川の流れるように速い。今日は朝から台風5号が上陸するとかで、外にも行けず妙壽寺でおかげさまで、私の書物金泥の「妙法蓮華経如来寿量品第十六」が並居る方々と同等に飾られていた(当紙9号参照)。私の当山における墓参り八十七年を顧みることにした。

物心が着く着かぬの時を過ぎ、生まれてすぐ母の背中におんぶされて寺の行事には参加しませんでした。小学校に上がるまでは、その後も墓参りには千歳鳥山駅から左手に小学校を見ても長い長い田圃の畦道を、行けども行けども子供の脚では山登りの様に長い。今ではバスが通っているが最初に寺が見える「あつ」という「じきだ」と胸をなで下ろすが、ウチの寺はまだまだ一番先で、今でも寺町の一番最後だ。

昔は、供花はみな神のような気がしたが、今ではその季節によってきれいな花を手向ける。子供心に「なんとうちの墓は小さいことだ」と思っていたが、お墓と言ふものは幾代も幾代も続くものだから、あまり墓を大きくするものではないと諭されたことが忘れられない。生家が震災記念堂の前にあつたので、その墓参りと寺の行事には欠かさなかった。妙壽寺へは両国駅から新宿駅へ、

京王電車から乗り換え千歳鳥山まで1時間。それから一日仕事だったその帰りに、三十分ほどは栗拾いやどんぐり拾いをして、新宿の三越脇の「モーリ」でアイスカレーを食べるのが楽しみだった。その後、満州事変、支那事変を経て、日米戦争に突入。ゆくゆくはお国のためと志願して所沢飛行整備学校の青森八戸分校に入ったが、あまりの寒さを今でも忘れられない。もう一度行つて見たい。昭和二十年三月十日の下の大空襲で灰塵と化す。その時運良く調子の飛行場日して、博多経由で特攻基地知覧(鹿児島県南九州市)に向かった。その時は既に沖繩は全滅だった。敗戦の時整備する飛行機は一台もなく、毎日が遊び。帰郷の電車は網欄までも満載で、途中広島は焼け野原だった。おかげで家族はみな無事で、僕は新しい道を進むべく大学受験に邁進した。これも母がいたからこそできたことだ。その時は、アルバイト学生は僕が最初だとばかり思っていた。学費や生活費のため何でもお金になるならば、英国大使館のガードマンになるが、残念なことには英語を使える機会が全くなかった。その他にも中央郵便局で日本人の手紙の検閲作業をしたり、メリヤス下着の個別販売もしたものだ。

〔注〕墨田区横網の横網町公園内にある慰霊施設。昭和5年、関東大震災の身元不明の遺骨を納め、死亡者の霊を祀る震災記念堂として創建され、昭和23年より東京大空襲の身元不明の遺骨を納め、死亡者の霊を祀りされている。現在は東京都の施設。

正隆会 ウォーク



雷門全員集合! 西の市の熊手とおたふく 第一展望台を楽しむ 451.2m よりの眺望 スカイツリーを見上げる

スカイツリー&西の市ウォーク 平成24年11月20日(火) 浅草雷門集合→長國寺にて祈禱→お西様見物 ↓浅草ビューホテル1階「カピタン」にて昼食 ↓スカイツリー展望台見学



高層エレベーターに乗る前に4階ロビーに集合



当住上人妹・千葉珠恵さんと 当住久美夫人父・浅見真高氏